

認知症になってもだいじょうぶ！

そんな社会を創っていきましょうよ

認知症は、一般的には高齢者に多い病気ですが、65歳未満で発症した場合は、『若年性認知症』とされます。『若年性認知症』は子育てや働き盛りの世代ですから、ご本人だけでなくご家族の生活への影響も大きいと考えます。

看護師だった藤田さんは45歳のときにアルツハイマー型認知症と診断されました。正しい診断を受けるまでの期間、そして診断を受けてからの藤田さんはどう生きてこられたのか、そして今回認知症があっても安心して暮らせる社会に向けてのメッセージをお話していただきます。

日 時

平成29年 11月25日(土)

13:30~14:30

開場13:00 講演13:30

場 所

三朝町総合文化ホール 大会議室

講 師

藤田 和子 氏

(NPO法人

若年性認知症問題にとりくむ会・クローバー 副理事長)



プロフィール

藤田 和子 (ふじた かずこ)

鳥取県鳥取市在住。  
2007年にアルツハイマー型認知症と診断される。  
若年性認知症問題にとりくむ会・クローバー副理事長。  
日本認知症ワーキンググループ共同代表。  
認知症の人のみならず誰もが生きやすい社会をめざし  
講演や執筆、政策提言活動を続けている。

参加無料  
申込不要